

新天地開拓を企業精神とするリゾートトラストグループの価値創造プロセスは、会員様との強固な信頼関係を基盤としています。49年間の事業活動を通じて蓄積した諸資本をもとにグループシナジーを追求し、「ステークホルダーの誰もが一生懸命に付き合いたいグループ」へと進化してまいります。

グループアイデンティティ

ご一緒に、いい人生 ~より豊かで、しあわせな^{とき}時間を創造します~

主な経営資本(インプット)

事業資本・社会関係資本

- 運営ホテル数: 41施設
- ビジネスパートナー、地域社会との協働・連携

人的資本

- グループ従業員数: 7,903名 (連結・正社員)
- 独立社外取締役: 6名 (うち、女性独立社外取締役2名)

知的資本

- ホテル、施設のスマート化
- 施設利用データ
- 検診データ
- 医療機関との共同研究 (東大病院・京大病院 他)
- がん治療機器の研究開発 (国立がん研究センターとのBNCT開発)
- 非日常的な空間デザイン

財務資本

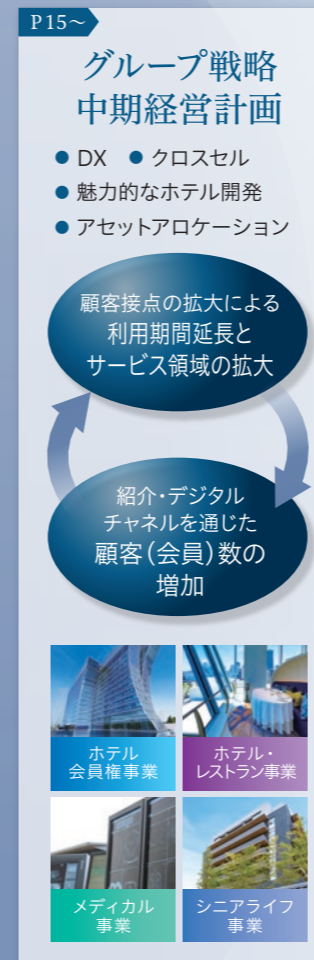
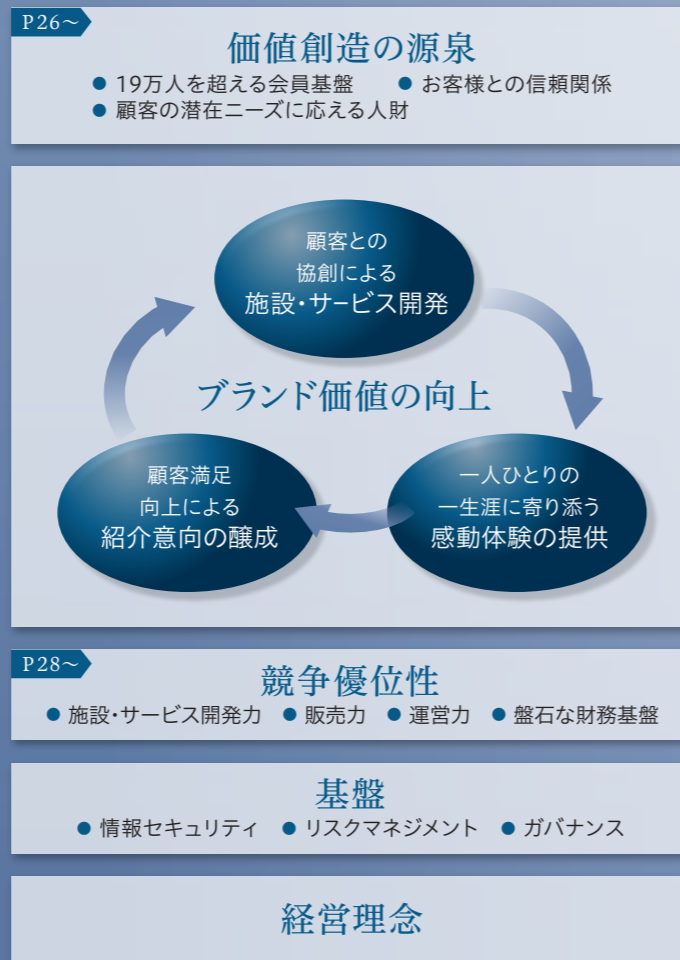
- 総資産: 3,944億円
- 純資産: 1,068億円
- 長期預り保証金: 1,093億円
※会員からの無利息の預り資金
- 現金及び現金同等物: 292億円
- コミットメントライン契約: 850億円
(2022年3月末時点)

自然資本

- 事業を支えるすべての環境資源

コアとなる「会員制」の事業サイクル

中長期的な企業価値向上の仕組み



創出する価値(アウトカム)

健やかでしなやかな生き方への支援

《あらゆるライフステージにおけるサービスの提供》

- 会員満足(入会満足・紹介意向)
- 新規会員の継続的な入会

《心身ともにやすらぐ空間の提供》

- リゾート施設利用者層の拡大

《健康寿命の延伸》

- 一般向け健診の推進
- 医療機関への運営支援の拡大
- 介護施設入居者の要介護度の維持・軽度化

多様性の発揮と働きがいの実現

- 女性管理職比率(連結): 21.3%
- 外国人管理職比率(連結): 3.7%
- 新規採用に占める中途比率(単体): 37.3%
- 男性育児休業取得率(単体): 49.2%

持続性のある社会への貢献

- 地域経済活性化に向けた連携プロジェクトの実施
- 医療機関との共同研究による低侵襲がん治療機器の普及
- 地球環境の維持・改善: クリーンエネルギーの採用、省エネ、CO2削減取り組み
- 自然とリゾート施設との共存

約半世紀にわたる事業を通じて積み上げてきた19万人を超える会員様、お客様との信頼関係、そしてホスピタリティ精神を実現する人財こそが、リゾートトラストグループ価値創造の源泉です。

■ 会員・顧客 ～一生のパートナーとなりともに価値を創造する～

■ 価値創造の源泉——19万人を超える会員

当社グループは19万人を超える会員基盤の存在がコア・コンピタンスとなっています。会員制という長期にわたるサービスを提供する中で、お客様の人生と長く寄り添い、深く関わりを持たせていただくことによって、多様なニーズを取り込み、新たな事業の開拓や、より質の高いサービスの提供に努めてきました。1990年代には、会員の皆様のご要望に応じて、リゾート地でのPETを用いた独自の検診システムを構築し、健康寿命の延伸に取り組むメディカル事業を開始しました。

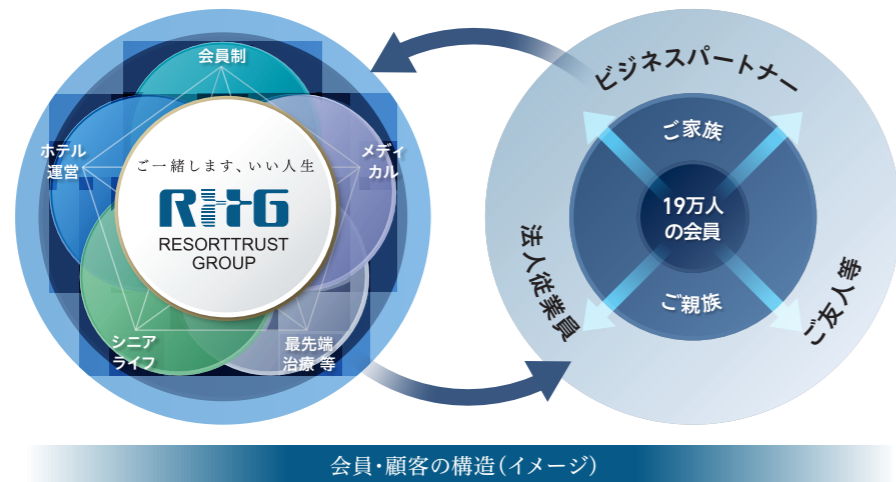
また2010年代には、ホテル事業で培ったサービスやメディカル事業の強みを活かし、ハイエンドなサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームを開発・運営し、拡大するシニア市場に本格参入してきました。リゾートトラストは、新たな事業機会やその原資となる利益を享受しながら、その時々的情勢や会員様の状況とともに変わるニーズを聴き、新たな価値を創造していくところに強みがあります。

■ 利用者の広がりデータ資産の活用

会員制という仕組みは、会員様本人だけがご利用者かという、必ずしもそうではありません。特にホテルの会員様においては、持ち分に応じたオーナーとしての権利のもと、ご自身のご親族やご友人、大切なゲストの方々にも多くご利用いただいています。ゲストの方々のご利用時の満足度は、紹介したオーナーの所有満足度に直結し、また、ゲストの方々ご自身での所有を志向される動機にもつながります。メディカル事業においても、ハイメディック検診を頂点として、エグゼクティブ向けの人間ドックや、法人従業員の方向けの一般健診など、幅広く社会のニーズに応えるラインナップを拡充しています。

当社には、こうしたホテル等でのお客様の予約・利用状況や、メディカル事業での検診データなどが集積されており、今後はそうしたビッグデータをAIの活用を通じて解析し、従業員がお客様一人ひとりに寄り添ったサービスの提供へとつなげることで、新たな顧客体験を創出していきます。

会員様を中心に数百万人に上るお客様の満足度の向上が新たなお客様へとつながる価値の連鎖となって、会員制事業の浸透や世の中への提供価値の拡がり、当社グループの持続的成長に向けた原資となっています。



会員・顧客の構造(イメージ)

■ 人財 ～「ご一緒に暮らす、いい人生」を体現する組織～

■ 価値創造の源泉——お客様から信頼される人財

当社がお客様にご満足いただくサービス、商品を提供することができる理由には、これまでの数十年間の運営において多くの会員様からいただいたお褒めの言葉や時に厳しいご指導などの一つひとつを、大切に積み重ねてきたことで培われたホスピタリティの精神があります。「お客様の喜びは私たちの喜びである」そのような組織風土のもとで、昨年新たにグループアイデンティティとして掲げた「ご一緒に暮らす、いい人生」より豊かで、しあせな時間を創造

します～」を体現すべく、従業員一人ひとりが顧客の潜在的なニーズに添えています。また、昨年スタートした、それぞれが施設の顔としてブランド向上を推進する「ブランドアンバサダー」の仕組みをグループ全体に拡張し、部門や職種の垣根を超えた取り組みに発展させ、推進しています。これまで培ってきた独自のノウハウに、こうした取り組みを加えることで、お客様から信頼される人財という価値創造の源泉をさらに強固なものとしていきます。

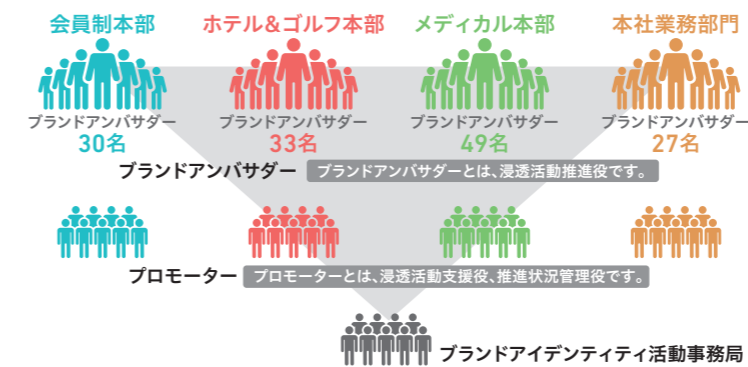
■ 一人ひとりが働きがいを持てる組織

当社グループが持続的成長を果たしていくための源泉となる人財に対しては、ダイバーシティ、教育と評価、デジタル戦略の3要素を通じて、働き方改革を推し進めながら職場環境の改善にも継続的に取り組み、従業員満足度の向上にも尽力しています。グループの持つ人財データを集約し、有効活用していくための体制整備を進めているほか、入社時からの教育や研修システムを通じて、グループのブランドを高める人財の早期育成を図っています。また、ワークライフバランスの視点で各種制度の整備を進め、営業活動やバックオフィス業務などの社内業務のデジタル

化を加速することで、働き方改革を推進しています。ムリ・ムダ・ムラを省いた働き方へと改革することで、お客様との接点が増え、成約件数や利用者数の増加、顧客満足度の向上にもつながっています。また、ダイバーシティの拡充にも積極的に取り組み、その成果は、余暇・健康・美を創出するホスピタリティ産業としての特性や強みに活かされています。評価・処遇体系の見直しや福利厚生制度の充実にもあわせて取り組み、当社グループの企業理念を体現する人財が、能力を存分に発揮しながら生き生きと働きがいを持って仕事ができる環境にしていくことに注力しています。

ブランドアイデンティティ浸透活動

- グループアイデンティティの浸透を図り、ブランドの向上に寄与する。
- チームの連携による各本部間のつながり強化する。



2022年8月時点:139名のアンバサダー
グループ共通の取り組みとして、組織ごとに、各組織でアイデンティティの浸透を推進するアンバサダーを設置。活動を支援するプロモーターとともに、ブランド向上に向けた企画立案、他本部との情報交換による横展開に取り組んでいます。

会員の皆様お一人おひとりのニーズを把握し寄り添い続けてきた当社グループの会員制ビジネスモデルが、コロナ禍の中で、顕著な競争優位性を発揮しています。

■ 資産 ～ブランドを支える施設、開発・運営ノウハウ、ネットワーク～

■ 高品質なホテル開発とパーソナルサービス

リゾートトラストが展開する国内数十カ所のホテル・リゾート施設は、「ライセンス・ハイクオリティ」という創業からの理念のもと、細部までこだわり抜いた圧倒的な品質の高さと、訪れる方々に非日常を味わっていただける空間を、妥協することなく追求し続けています。また、地域の観光資源としての役割に加え、地産地消の食育の推進、雇用施策も合わせ、地域の活性化に資することを重視し、自治体の担当者や地域の人々との対話を大切にしつつ開発を続けてきました。

これまでの施設展開においても、それぞれに固有のコンセプトを考案してきましたが、2021年以降は、新規ホテル

開発において、施設ごとの特色や地域とのつながりをより一層強くした、滞在自体が旅の目的となる「ディスティネーションホテル」を開発し、新ブランドである「サンクチュアリコート」も好評いただいています。

またホテルの運営面では、会員様との対話から伺った趣味趣向などの情報や当社グループ施設の利用データを蓄積・活用し、会員様への利用促進やご滞在中の過ごし方の提案など、一人ひとりに適したパーソナルサービスを行い、旅前・旅中・旅後の各顧客接点での顧客フォローを実現しています。



サンクチュアリコート高山 アートギャラリーリゾート



サンクチュアリコート琵琶湖 ベネチアンモダンリゾート

■ 産学連携による先端医療、新たな健康事業の推進

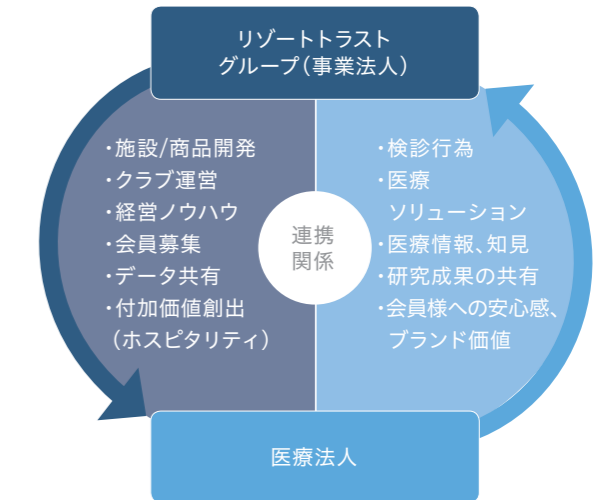
メディカル事業では、PET検査装置を日本で初めて検診に導入するなど、当社グループの画期的な検診プログラムは世界的にも高い評価を受けており、大学との産学連携事業を通して進めている第一線の研究成果をもとに、常に最先端の内容を検診に取り込む事業モデルを確立し

た。「早期発見→早期治療→健康寿命の延伸」という課題の解決に向けて、社会的な意義も大きく、当社グループの株式会社CICSがステラファーマ株式会社とともに国立研究開発法人国立がん研究センターにて治験を開始した、悪性黒色腫と血管肉腫を対象としたホウ素中性子捕捉療

法(BNCT)は、「がんで大切な人を亡くさない社会を目指して」という当社グループの思いを表すプロジェクトとして、将来のがん治療法としての確立を目指しています。

また、女性医師による女性の検診サービスにも注力しているほか、デリケートゾーン専用の洗浄剤や保湿クリームの新ブランドを立ち上げるなど、2021年度には性差に着目し、女性特有の健康課題を技術で解決する「フェムテック」事業へも本格的に参入しました。直近では株式会社ディー・エヌ・エーと提携し、各種健診データ等のビッグデータに対してAIを活用した解析を行い、パーソナルヘルスレコード(PHR)として集積してお客様向けにパーソナライズサービスを提供するための共同開発をスタートしました。

■ 医療機関とのパートナーシップ



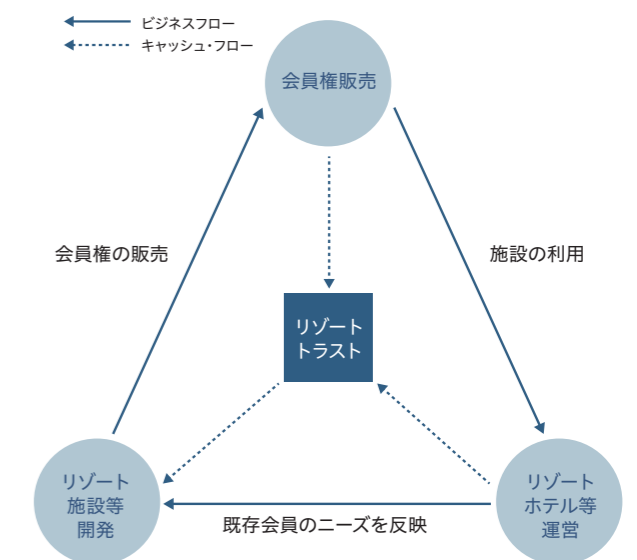
■ 財務基盤 ～会員制ならではのキャッシュ・フロー創出力～

会員様との強固な顧客基盤をベースとした当社独自のビジネスモデルは、盤石な財務基盤につながっています。主軸の分譲型会員制ホテルは、着工と同時に会員権販売を開始し、開業までにはほぼ投資額を回収できる短期の回収モデルを実現しているほか、開業後に得られる年会費の保証金償却収入などの安定した運営収益を生み出しています。また入会時の預り保証金は、返却を要さない償却型保証金が過半を占め、その償却収入は営繕費の原資にもなるなど、保証金返還に伴う財務リスクも少ない、健全な財務体質を実現しています。

2021年度も引き続きコロナ禍の先行き不透明な外部環境ではありましたが、リゾートトラストの会員制ビジネスの強みを再認識し、一般向けホテル事業の一部売却を進めるなど、経営資源の選択と集中を推し進めることで、経営基盤のさらなる強化を図りました。こうした中で、会員制事業は堅調に推移し、営業キャッシュ・フローは200億円を超える実績となりました。さらに上記内部資金のほか、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化を念頭に、

手元流動性と資金調達枠の確保に努めています。このように、事業への投資やリスクに備えた資金も潤沢に確保できています。

■ 基本的なビジネスフロー

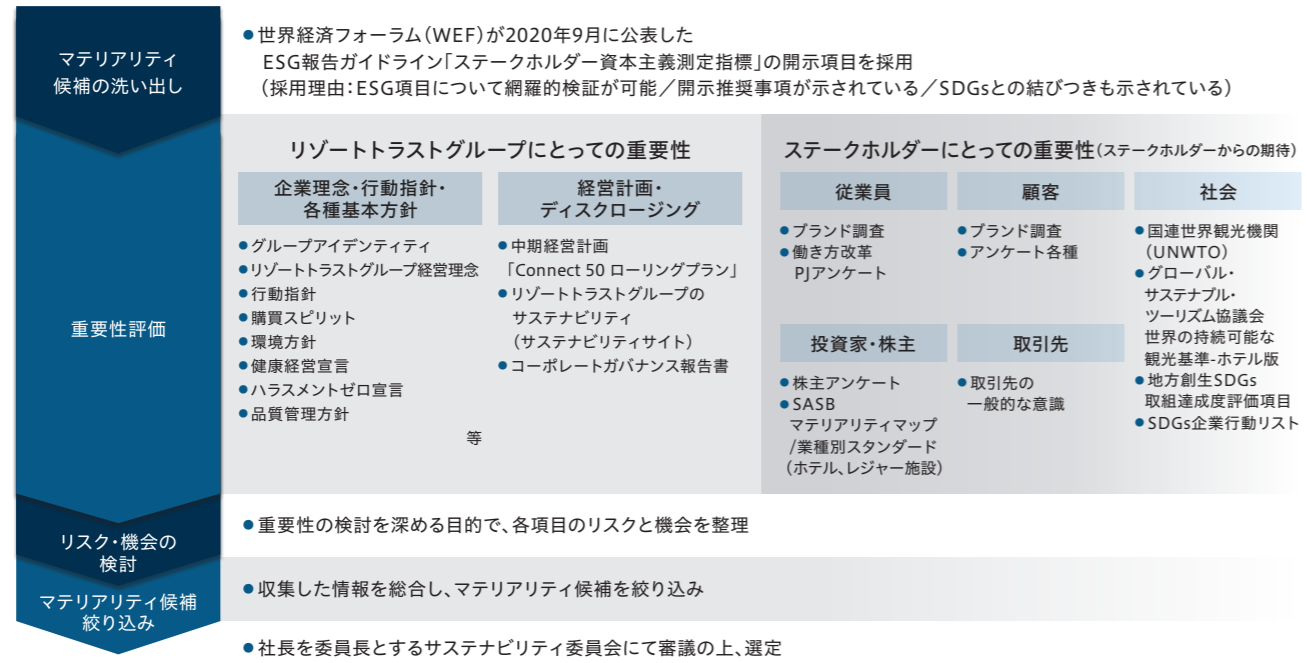


気候変動や資源枯渇、環境汚染といった問題を背景に、世界は今、脱炭素や循環型社会の実現に向け、大きな変革が求められています。また、超高齢化社会の到来、そして「人生100年時代」を迎える中で、健やかで満ち足りた、そして社会とのつながりを感じられるウェルビーイングな生き方がますます求められています。

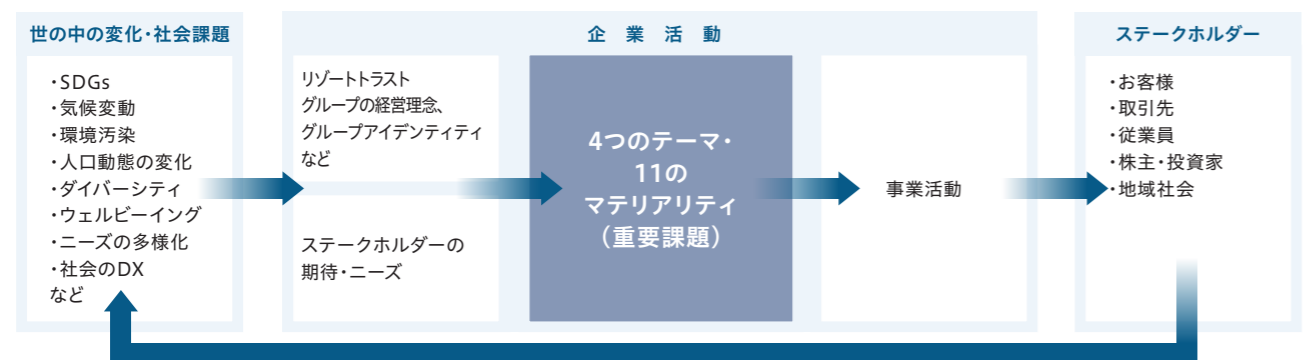
リゾートトラストグループでは、創業以来約半世紀にわたる歴史の中で、お客様と社会に真摯に向き合い、その事業を進化・発展させてきました。これまでも社会や環境に配慮した経営を実践してきましたが、50周年の節目を迎え、今後も将来にわたって社会とともに持続的に成長するために、当社が取り組むべき重要課題として、4つのテーマ・11のマテリアリティを特定しました。

マテリアリティの特定に際しては、お客様や株主・投資家、従業員をはじめとした各ステークホルダーの関心や期待、経営理念およびグループアイデンティティとの関連、事業への影響などを踏まえ、重要性を評価しました。今後はマテリアリティの事業戦略への統合、社内への浸透を進めるとともに、課題ごとに目標やKPIを設定し、それぞれの取り組みを通じてSDGsの達成にも貢献していきます。

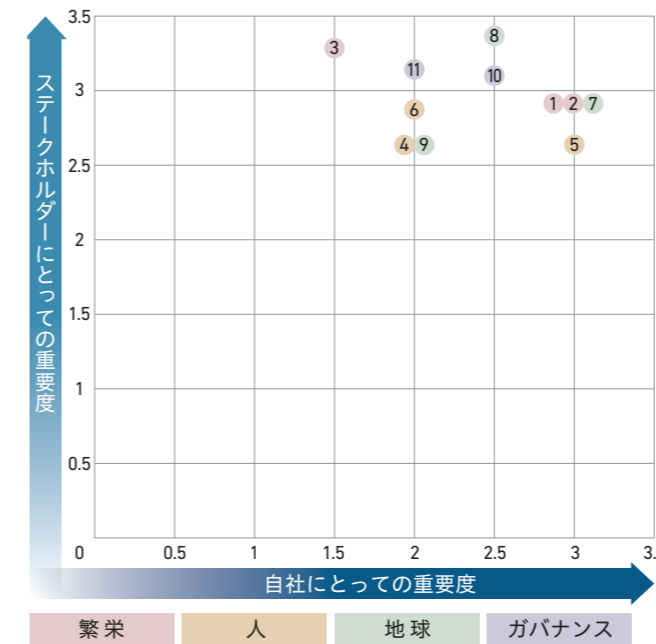
■マテリアリティ特定プロセス



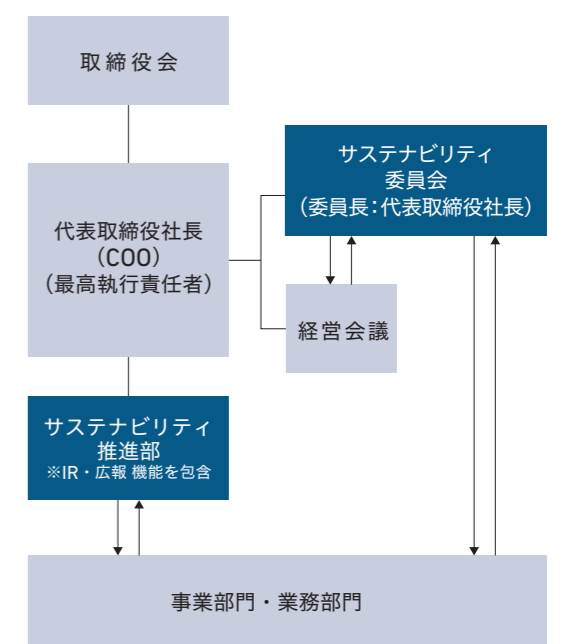
■マテリアリティの位置付け



■マテリアリティマトリクス



■サステナビリティ推進体制



■リゾートトラストグループの重要課題

カテゴリ	リゾートトラストグループのテーマ	マテリアリティ	モニタリング指標	関連ゴール
繁栄	●「一緒に、いい人生」の実現 ●リゾートトラストグループ独自のブランド価値の醸成	1 一人ひとりの人生に寄り添うサービスの提供	●介護施設入居者の要介護度の維持と軽度化 ●がんの早期発見率 ●研究開発費の総額	3, 9, 11, 12, 17
		2 サービスの品質・安全性・革新性の追求	●CSアンケート結果 ●会員数・平均消化泊数	17
		3 地域の活性・貢献の追求	●地域への投資額・地産地消費 ●地元雇用率・エリア登録率	17
人	●スタッフの「いい人生」	4 ダイバーシティ&インクルージョンの達成	●障がい者雇用・女性活躍推進 ●シニア活躍推進・外国人雇用	4, 5, 8, 10
		5 全スタッフの「しあわせ」の追求	●ESアンケート結果・福利厚生 ●賃金格差・定着率	8, 10
		6 能力・キャリア開発	●研修回数・昇格者数 ●各種資格合格者数	8, 10
地球	●自然環境負荷の低減(自然と共に生きつづける)	7 CO ₂ 排出量の削減	●2030年・2050年の各ゴールでのCO ₂ 削減量	7, 13
		8 廃プラスチック・食品ロスの低減	●再生利用等実施率	14, 15
		9 生物多様性の保護	●植樹延べ面積(本数)	14, 15
ガバナンス	●ガバナンス強化	10 透明性の高い事業運営	●社外取締役比率	16
		11 非財務情報の開示とステークホルダーとの対話促進		

※ESG報告ガイドライン「ステークホルダー資本主義測定指標」に基づきカテゴリに分けています。
※モニタリング指標や目標値は今後継続して審議していきます。

「ご一緒に、いい人生」の実現/リゾートトラストグループ独自のブランド価値の醸成

私たちは、お客様への最高のサービスの提供や、お取引先との良好な関係の構築を推進し、事業活動に関わるすべての人や社会から信頼され、社会全体に貢献できる企業グループであり続けることを目指しています。

■一人ひとりの人生に寄り添うサービスの提供

人生100年時代とも言われる健康長寿の時代の中で、リゾートトラストグループでは病気を未然に防ぐ予防医療や、病気の早期発見、健康維持を目指した健診や人間ドックの提供など、さまざまなメディカルサービスを提供し、社会課題である「健康寿命の延伸」に取り組んでいます。「がんが大切な人を亡くさない社会へ」というビジョンを掲げ、がん高精度検診を展開しているほか、悪性黒色腫と血管肉腫を対象とした「ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)」の治療を国立がん研究センターにおいてステラファーマ株式会社と共同で開始するなど、新たながん治療の確立を目的

とした取り組みも進めています。「人生100年時代」に寄り添うサービスとしては、介護予防健診やシニアレジデンスでのリハビリテーションサービス、アルツハイマー検診などの提供や、サプリメント・健康食品の開発も行っています。また、2021年秋には、働く女性の健康を支えるフェムテック事業の一環として、婦人科専門医監修による女性向け新ブランド「エストール」を立ち上げ、月経や女性特有の疾病、妊娠・出産や更年期障害など、女性の健康課題の解決に向けた取り組みをスタートしています。

■サービスの品質・安全性・革新性の追求

私たちは、お客様にすべての場面で素晴らしい体験をしていただけるよう、常にお客様の目線に立って顧客満足度を追求しています。定期的なCS(顧客満足度)調査やホテル宿泊者アンケートの実施はもちろん、スタッフによる会員の皆様へのフォローやご利用ホテル・施設でのヒアリングなど、お客様一人ひとりの声を聴き、真摯に向き合いながら、最高のサービスの提供に努めています。また皆様からのご要望をもとに、新しいホテルの計画、ホテルで過ごす際の付帯施設の設置(ゴルフ事業)、高齢化に伴う健康への関心と需要への対応(メディカル事業・シニアライフ事業)など、ライフステージにも合わせた新しいサービス・商

品の展開につなげています。

また、お客様に安心・安全な商品やサービスをお届けするために、当社グループでは「品質管理方針」を掲げ、購買担当者の共通指針「購買スピリット」を遵守することで、サプライチェーン全体における公平かつ公正な取引の徹底を図っています。またお取引先との双方向コミュニケーションはもとより、購買受発注システム掲示板を通じて定期的に通知するなど、当社コンプライアンス方針の浸透、お取引先や外部関係者を含めた内部通報保護制度の運用に取り組んでいます。

■地域の活性・貢献の追求

リゾートトラストグループの事業活動の基本は、「人」とのつながりを何よりも大切とし、スタッフ一人ひとりが地域社会と積極的に関わりを持ち、社会に貢献していくことにあります。会社としての活動だけではなく、地域と関わりを持つ各事業所や各施設がそれぞれ主体的に地域社会への貢献活動を企画・実行しています。また各ホテルでは、その地域で生産された食材を使用する「地産地消」にも力を

入れており、フードマイレージの削減や燃料資源の節約、CO₂の排出抑制など、環境負荷の削減を図ると同時に、地域の活性化にも貢献しています。今中計期間においても、芦屋・横浜などは、地域・行政との調和と連携を重視した形でホテル開発を進めています。

スタッフの「いい人生」

経営理念を実現するために、一人ひとりの従業員に成長を支援する機会を提供し、多様な人財が生き生きと働き、あらゆる場面で活躍できる環境づくりに取り組んでいます。

■ダイバーシティ&インクルージョンの達成

リゾートトラストでは、ダイバーシティ&インクルージョンを拡充するために、各本部に推進担当者を設置し、会社全体および各本部でさまざまな取り組みを行っています。また、人事企画部が全社横断の施策を担当し、経営層から現場までが一丸となり、さらにグループ全体で協力しながら、ダイバーシティ推進に取り組んでいます。

特に全従業員の半数を占める女性の力は、欠かすことのできない大切な経営資源として、女性のキャリア形成の支援にも注力しています。具体的には、女性管理職比率を25%以上とする目標を設定し、女性のキャリア形成を推進しており、実力ある女性を積極的に役員にも抜擢してい

く予定です。また本当の意味のノーマライゼーションとは、障がいがある人も、ない人も、特別に区別されることなく社会生活をともにすることです。中でも、仕事は一人でできるものではないからこそ、それぞれが「できること」で相互に「助け合う」ことが大切と考えます。この考えから歩き始めたリゾートトラストグループの障がい者雇用への取り組みは、確実に実を結び始めています。また、定年後も正社員としての継続勤務を希望し、会社が定める一定の基準を満たす従業員については、等級・役職によらず定年年齢を延長する制度があるほか、シニアスタッフとして1年ごとに契約を更新する形でも雇用を継続しています。

■全スタッフの「しあわせ」の追求

ダイバーシティ&インクルージョンの拡充に加え、従業員の健康維持・増進に向けて、安全で快適な職場環境の形成、従業員の生活習慣の改善、メンタルヘルスケアの充実などの施策を通じた健康経営にも注力しています。また、従業員のそれぞれの人生において、家庭と仕事、どちらも諦めることなく輝けるよう、育児や介護といったライフイベントとの両立を支援する制度やサポート体制の充実化を図っています。

働き方に多様な選択肢があれば、それだけで働きやすさは格段に向上します。例えば、「勤務地限定制度」や「短時

間勤務制度」は全従業員が選択できるほか、営業職や事務職の部署では「フレックスタイム制度」も導入しています。

リゾートトラストでは会社の支援体制を従業員に周知するために、育児に関連する社内制度をまとめた「育児のための両立支援ハンドブック」の配付や、制度ごとにまとめた利用マニュアルの作成により理解促進に努めるほか、男性従業員の育児参加も支援しています。またワークショップやeラーニングなどを通じて、意識啓発も行い、本人だけでなく上司や周囲の仲間と協力して両立できる環境づくりを推進しています。

■能力・キャリア開発

リゾートトラストグループの持続的成長にとって、人財は不可欠な経営資本であり、その人財の成長に寄与すべく、従業員に対してさまざまな研修機会を提供しています。全従業員は、新卒導入研修や中途入社者オリエンテーション研修で、当社グループの経営理念や沿革や事業内容などの理解を深めます。ほかにも、階層ごとに昇格研修や次世代リーダー研修、マネジメント研修などを実施していま

す。また、通信教育や資格取得支援などの育成サポートを実施しているほか、2021年度には、人権、コンプライアンス等をテーマにeラーニングも実施しました。

自然環境負荷の低減

リゾート事業を行う私たちにとって、美しい自然環境は最も魅力のあるかけがえのない財産です。美しい自然の風景をいつまでも保つために、気候変動対応や環境資源の持続的利用など、自然環境とともに生きていくことを使命に企業活動を行っています。

この限りある資源を次世代に、さらに永遠に残すことは私たちの責務であると考え、私たちは温室効果ガスの排出量の削減、資源の循環型利用の推進、生態系への負荷低減など、自然資本の劣化を食い止めることはもとより、生物多様性が保全された地球の実現に向け環境方針に則った事業活動を日々行い、環境保全と事業活動に好循環を生む「環境経営」を推進しています。

■CO₂排出量の削減

●再生可能なクリーンエネルギー

リゾートトラストグループは、2030年または2050年に向けた中長期的なGHG(温室効果ガス)排出量削減のために、国内すべての会員制リゾートホテル拠点と、すべてのグループゴルフ場、合わせて37拠点に太陽光発電設備を設置する方針を公表し、取り組みを進めています。太陽光発電設備の設置に向けた投資額はおよそ20億円規模を見込んでおり、2022年度以降、順次各拠点の条件に合わせて建物屋上や駐車場の屋根などに太陽光発電設備の導入を進め、発電した電力を自家消費することで、環境負荷の低減を図っていきます。

リゾートトラストグループでは、これまでも気候変動への取り組みとして、再生可能で自然に優しいクリーンエネルギーである太陽光や、水力による発電を行ってきました。「グランディ那須白河ゴルフクラブ」の隣接地に位置し、2014年3月から発電を開始している「リゾートトラストメガソーラー那須白河」は、敷地面積255,000㎡の中に太陽光パネル8,320枚を設置し、発電出力は一般的な住宅用ソーラー発電設備の500倍(約2,000kW)に相当します。大きな特長の一つは、電気自動車用の非常用充電設備があることで、送電が止まるような災害時には救助車両となりうる電気自動車向けの電力供給にも対応可能としています。新たに着工する「サンクチュアリコート琵琶湖」にお

いては、太陽光発電設備によって、日中の消費電力のおおよそ80%相当を自家発電で賄う見込みです。

水力発電についても、「エクシブ湯河原離宮」でマイクロ水力発電を行っています。ホテルの周囲にある水路の高低差を利用して発電することで、自然が蓄えている水の力を利用して作る自然に優しいクリーンなエネルギーとなっています。

リゾートトラストグループでは、こうした再生可能エネルギーの活用の取り組みを通じて、グループの事業活動に伴い排出されるCO₂削減の中長期的な目標を定め、事業を通して持続可能な社会(サステナビリティ)の実現に貢献できるよう取り組みを推進していきます。

●低公害車(エコカー)の導入

リゾートトラストでは、地球環境に配慮した低燃費の車を営業車として使用しています。各営業担当者はエコドライブを心がけ、大気汚染防止に取り組みながら、笑顔とホスピタリティを大切に、毎日の営業活動を行っています。

また、新入社員向けの「環境経営」講座や、事業所単位で環境トラブルに備えた緊急事態対応訓練の実施などを通じて、「気づきの文化」を根付かせることで、従業員一人ひとりが環境課題を含めたさまざまな問題を自分事として捉え、自主的な活動を行うことを推進しています。

を、フードバンクに寄附する活動を実施しています。フードバンクは困窮した世帯などに無償で食品を提供する団体であり、当社はこの寄附を通じて食品ロスの削減や、貧困や飢

■廃プラスチック・食品ロスの低減

●食品ロス削減の取り組み

リゾートトラストでは、地震など災害時に備え、非常食や保存水を備蓄しており、消費期限の近づいたそれら備蓄品

餓をなくす取り組みを支援しています。

直近の食品寄附の実績

2021/06/24 セカンドハーベストジャパン様(アルファ米×7,250食)
2022/01/27 フードバンク和歌山様
(保存水500ml×1,992本、アルファ米×4,850食)

●紙製ストローへの変更

プラスチックによる海洋汚染や、漂着ゴミによる海岸の景観の悪化は、世界的に深刻な環境問題となっています。リゾートトラストにおいてもすべてのホテルやレストランで使用している年間約100万本のストローについては紙製ストローに変更し、プラスチック製ストローの使用を原則禁止としています。

■生物多様性の保護

●環境設計の実施

リゾートトラストの主要事業の一つである会員制リゾートホテルの建設をするには、周辺の自然環境を維持するために、もとの自然を守り、生かしていくことがとても重要です。2018年4月にオープンした「エクシブ六甲 サンクチュアリ・ヴィラ」は、兵庫県神戸市にある六甲山の豊かな自然に囲まれた場所にあり、「天空の聖域」と呼ぶにふさわしい、都会の生活から離れゆったりとした時間が過ごせる会員制リゾートホテルですが、建設する際に六甲の自然を守り再生する計画を神戸市と環境省に提案し、自然との共存を実現したホテルです。この敷地にはもともと貸別荘や企業の保養所などがあり、長年使わずに放置された場所でしたが、この土地を再利用すべく、残せる自然はできるだけ残すよう既存森林の手入れと植樹を施し、生物の保全なども踏まえて、六甲の森を再生させました。

●水資源の保全

「グランディ浜名湖ゴルフクラブ」では、生命の存在に不可欠な水資源の循環・保全に向けて、日本国内のゴルフ場としては初めて、周辺環境に影響を及ぼさずにグリーンを保てる水循環システム「クロードシステム」を導入しました。これは、グリーン下に貯水槽を造ることで、ゴルフ場内で発生した農薬を含んだ水を外へ流出させることなく貯水し、その水を再びグリーンに散布するという循環システムです。オープン以来、鑑賞池の水質を定期的に測定してきましたが、わずかな農薬も検出されることがなく、環境省の基準値も完全にクリアしています。

●ECOステイの提案

3R(Reduce, Reuse, Recycle)活動を推進し、地球環境に配慮した取り組みの一環として、一部ホテルで2泊以上ご滞在のお客様には「ECOステイ」を提案しています。連泊される際、部屋の清掃およびアメニティの交換などを不要とする「ECO提案」に賛同いただいた場合、ミネラルウォーターやラウンジでのコーヒー券をプレゼントするものです。清掃や消耗品の使用量を抑えることで、地球環境への負荷低減に貢献できると考え、お客様に賛同・協力していただき実施している取り組みです。

※サービスは予告なく変更となる場合がございます。

●生物多様性の大切さを広める

「おりがみアクション」

2010年、愛知県名古屋市で「生物多様性条約第10回締約国会議(以下、COP10)」が開催され、リゾートトラストは、この会議に参加する国際環境機関「IUCN(国際自然保護連合)日本委員会」と共同で、会議のロゴマークでもある「おりがみロゴ(多様な動植物を日本の伝統文化であるおりがみで表現するもの)」をお客様と折り、「10年後の地球」に向けたメッセージとともに会議会場に届ける活動「おりがみアクション」を実施しました。2010年以降も、COP10にて「国連生物多様性の10年」とされた2011年から2020年までの間、2年ごとに開催される「生物多様性条約締約国会議」の年に「おりがみアクション」を開催。おりがみで折った生き物に10年後の地球へのメッセージを書いて、未来に届けました。子どもたちを中心としたお客様に楽しんでいただきながら、自然の素晴らしさや生物多様性の大切さを伝える取り組みです。

●第6回IUCN世界自然保護会議に参加

2016年9月1日～10日に、IUCN(国際自然保護連合)主催の第6回世界自然保護会議(IUCN World Conservation Congress)がハワイ・ホノルルにて開催されました。この会議は4年に1度開催され、この回には世界192カ国から約1万人が参加。今後4年間の生物多様性や自然保護に関する方向性、問題点などが議論されました。リゾートトラストは、IUCN日本委員会と共催でブース出展をし、「おりがみアクション」を実施。また、IUCN幹部のGiulia Carbone氏と企業における自然環境保全、生物多様性保全に関する意見交換を行いました。